

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

—パートナー—

NO. 47



さあ、新年度が始まりました。今ときですから、ちょっとまわりを見渡してから、マスクを外し、思いっきり深呼吸をして、心に新たな酸素を送り込みませんか？心のマスクは、たまには外さないでですね。

そして、よろしく願います！今、自分のまわりにいる人たちが、これから一緒に過ごしていくパートナーです。まだ、何となく上手く立ち回れないかもしれません。一日が終わって、布団に入ったときの大きなため息に、4月を感じるのではないのでしょうか。


出会いの多いこの時期、私たちも、子どもと向き合いに少なからず緊張感を持っています。子どもといえども一人の“人”です。「これからよろしく！」「私はこういう人です。こんな感じです」「あなたと一緒に歩かせてね」この言葉を、大人も子どもも、お互いが掛けあい触れ合うことから始まります。手伝い誘導し、楽しさを作っていくお膳立ては、まずは大人の仕事かもしれませんが、向き合う子どもあつての働きかけですからね。小さなサインでも返してきてくれた一瞬は、心から「ありがとう」の気持ちでいっぱいになります。見た目は淡泊なやりとりでも、“通じ合ったな”と感じたキャッチボールは、次々へとつながっていきます。『伝える側』と『伝えられる側』という関係を越えた、“今ここでの”パートナーとしてお互いが心地よくなる瞬間です。その新たな出会いから、新たな学びや育ちが芽生えていきます。

大人は会話から入ることが多いですが、子ども達には一人ひとり違ったいろいろな切り口があるものです。王道のスキンシップから入る子。でもそこもいろいろ。向き合うスキンシップではなく、隣りに並んだのほうがいい子。どんな人か、どんな遊びをしてくれるのか、じっくり観察してから、自分から小さく小さく触れてくる子。ダイナミックに肩に手を回されて振り回されてから“OK”を出す子。お母さんや前任の先生からのアドバイスを活かしながら、お互い良きパートナーになれるよう、一瞬一瞬を大切にしていける4月です。

言葉かけや会話から入ったほうが上手くいく子もいます。たとえ、通じ合っていないように見える会話でも、言葉のない会話でも、多くの出会いを経験している子ども達は、その人がどんな人なのか、すぐに見定めてきます。心地よい出会いの経験が多ければ多いほど、仲の良いパートナーになるまでに時間はかかりません。心のスキンシップからでもOKなんですね。たくさんお話をする4月です。

どちらにしても、“人を大事にする”“相手を思いやる”姿勢を大人から示し、小さい頃からコツコツ積み上げて、みんなで大切にしていけることが、出会いを広げて、『遊び』や『学び』を楽しめるものにしていきます。先輩たちの背中が、「うんうん」と、うなずいていますよ。

また世の中に四文字熟語が出てきました。“濃厚接触”いかにも悪いことのように印象付けられ、感染した人が悪者のような扱いをされてしまうことも。物理的な距離だけでなく、人と人との心の距離感も希薄になってしまわないかと、ちょっと心配になります。

終わりの見えない閉塞感に、ちょっと疲れてきましたね。でも、この時期だからこそ、広げていけるものもあります。新しいパートナーが、扉を開けてくれるはずですよ。(R2. 4) K